

千葉県（ちばけん）は、日本の関東地方の南東側、東京都の東方に位置する県。房総半島と関東平野の南部にまたがる。県庁所在地は千葉市。

平野と丘陵が県土の大半を占め、海拔500m以上の山地がない日本で唯一の都道府県である。地勢上、広大な可住地と長大な海岸線を持つ。

概要

関東地方の南東部に位置する県で、三方を海に囲まれ、県土の大部分が房総半島に含まれる。起伏の少ない県であり、関東平野の一部である北部は、海岸（東京湾・太平洋）や河川（利根川・江戸川など）沿いの低地と下総台地とからなる。南部側は房総丘陵などの丘陵地帯だが、最高峰は標高408mの愛宕山であり、全都道府県のうち最高峰（点）が最も低い。標高329mの鋸山や鹿野山など、観光地化されているところもある。

千葉県は律令制以来の『房総三国』である上総国・安房国の全土と、下総国の一部から成り立っている。「下総国」のうち、猿島郡・結城郡・豊田郡・岡田郡の全域と相馬郡・葛飾郡の一部は茨城県に、葛飾郡のさらにまた一部は東京都と埼玉県に編入されている。

1873年（明治6年）6月15日に、北西部の印旛県と南部の木更津県が合併し、千葉県が成立した。その後、1875年（明治8年）5月7日に新治県の利根川以南の領域を編入、同時に旧印旛県の利根川以北の領域を茨城県に、江戸川以西の区域を埼玉県に移管した。その後、1899年（明治32年）に香取郡のうち利根川以北・横利根川以西の区域が茨城県稲敷郡に編入され、現在の県域がほぼ確定した。

都道府県人口・都道府県人口密度・都道府県昼間人口[1]はいずれも全国6位。面積は全国28位（南関東1都3県では最大）である。

平地の割合が大きく、可住地面積が広いことや、東京都に隣接しており首都圏の一角をなすことなどから、古くから住宅開発が進んでいる。県北西部の人口は稠密であるが、東部や中南部では多くの地域で人口の減少が進んでいる。また、一部の市町は過疎地域に指定されている。浦安市から富津市までの東京湾沿岸には広大な埋立地が広がり、京葉工業地域の中核として市原市の石油化学コンビナートや、千葉市と君津市にある製鉄所などが立地している。一方、地勢を生かした農漁業も盛んに行われており、農業産出額、漁業総生産量とも全国で有数である。2008年度の県内総生産は19兆6889億円であり、世界の過半数の国の国内総生産より大きな規模を有している。

カー (K, K, Ka, Carr, Kerr, Kerr, Khaa)

CAR

車両のこと。多くの場合は自動車（特に乗用車）の意味に用いられる（マイカー、カーレースなど）が、鉄道車両の意味にも使われる（テレビカーなど）。

K

ドイツ語、フランス語、インドネシア語などの読み方のラテン文字。

K

ロシア語、ウクライナ語などの読み方のキリル文字。

KA

古代エジプト語で人間の霊的存在の一部。エジプト神話を参照。

フォード・Ka - アメリカのコンパクト自動車

Carr

人名など。

E・H・カー (E. H. Carr) - イギリスの歴史家、政治学者、外交官。

ウィルバー・ジョン・カー (Wilbur John Carr) - アメリカの政治家。

サビン・カー (Sabin William Carr) - アメリカの陸上競技選手。

ジョン・ディクスン・カー (John Dickson Carr) - アメリカの推理作家。

スティーブン・カー

スティーヴン・カー (フィギュアスケート選手) (Stephen Carr) -

オーストラリアのフィギュアスケート選手。

スティーヴン・カー (サッカー選手) (Stephen Carr) - アイルランドのサッカー選手。

ビル・カー (William "Bill" Arthur Carr) - アメリカの陸上競技選手。

ヘンリー・カー (Henry Carr) - アメリカの陸上競技選手及びアメリカンフットボール選手。

ラルフ・ローレンス・カー (Ralph Lawrence Carr) - アメリカの弁護士、政治家。

カー (フリゲート) (USS Carr, FFG-52) - アメリカ海軍フリゲート艦。

Kerr

人名など。

アレックス・カー (Alex Arthur Kerr) - アメリカの東洋文化研究者。

クラーク・カー (Clark Kerr) - アメリカの労働経済学者。

グラハム・カー (Graham Kerr) - イギリスの料理研究者。

クリスティ・カー (Cristie Kerr) - アメリカのゴルファー。

ジョージ・カー (陸上選手) (George Kerr) - ジャマイカの陸上競技選手。

ジョニー・カー (Johnny Kerr) - アメリカのバスケットボール選手。

ジョン・カー (物理学者) (John Kerr) - スコットランドの物理学者。

デボラ・カー (Deborah Kerr) - イギリスの女優。

ハリー・カー (Edward Henry "Harry" Kerr) - ニュージーランドの陸上競技選手。

フィリップ・カー (Philip Kerr) - イギリスの推理作家。

ボビー・カー (Robert "Bobby" Kerr) - カナダの陸上競技選手。

ミランダ・カー (Miranda Kerr) - オーストラリアのファッションモデル。

ロイ・カー (Roy P. Kerr) - ニュージーランドの数学者、物理学者。

カー郡 (テキサス州) - アメリカテキサス州の郡。

Karr

人名

ゲーリー・カー (Gary Karr) - アメリカのコントラバス奏者。

サラ・ローズ・カー (Sarah Rose Karr) - アメリカの女優。

Khaa

ナンキョウ (南姜) - ショウガ科の植物、香辛料 (タイ語)。

その他

日本語におけるカラスの鳴き声の擬音語。

フィルム (英語: film、plastic

film) は、一般に合成樹脂などの高分子成分などを薄い膜状に成型したものを指す。

定義

薄い膜状のものを指す用語として、「フィルム」（および「ファイル」）の他に「シート」「膜（メンブレン）」「箔」などがある。これらの区分は明確には定義されておらず、慣用的に使い分けられている。現実には、発明者や製造者または使用者が便宜的に名づけた呼称がそのまま広まるケースが多い。

素材による区分

基本的に「フィルム」「シート」は人工物のうち高分子原料を主に使用したものを対象とした呼称に当たる。ただし、紙や布などファイバー状の原料を積層して製造されるものを指して「シート」と呼称することはあるが「フィルム」と呼ぶことは非常に稀である。「メンブレン」は自然物から概念的なものまでをも含む広い範囲を対象とした包括的な用語であり、逆に「箔」は金属原料を主に使用したものに限定する傾向がある。

一方、ケイ酸成分を原料とした薄膜成型材料について「無機フィルム」、微生物が形成する薄膜について「バイオフィルム」、オブラートなどの薄膜状の食べ物について「フィルム食品」または「可食性フィルム」という語句が使用されているように、「フィルム」の呼称は必ずしも合成樹脂など有機系の工業材料に限定される用語ではなくなりつつある。

その他の用例では、化粧品成分が肌の表面で形成する膜成分を「フィルム」と呼称することから転じて、一部の液体状化粧品を「アイフィルム」などと名づけている。

厚みによる区分

日本国内では一般に200 μ m以下の厚さを「フィルム」と称す事が多い。それに対しJISの包装用語や欧米では10ミル=250 μ m以下を指す。ただし、ロール状に巻けるなどの柔軟性を保持するものはより厚いものでも「フィルム」と呼称することもしばしばあり、いずれにしても明確に定義されてはいない。100~200 μ mの範囲を境界とし、薄いものを「フィルム」、厚いものを「シート」と慣例的に区別するケースが多い。

形状による区分

「フィルム」は一般に、製造時に支持基盤を必要とするか否かに関わらず、成型後にそれ単体で薄膜状の構造を成り立たせているものを指す。成型した基板から単独では事実上分離できないものは「膜」や「層」などの用語を使用するケースが多い。また、「フィルム」は長い製造品を巻き取ったロール状で供出される場合が多く、同一の製造品ながらロール状のものを「フィルム」、適当な大きさに切り出したものを「シート」とそれぞれ呼称される場合もある。また、産業分野では通常「テープ」とは幅の狭い「フィルム」を指す。ただし、セロテープなどの粘着テープやビデオテープなど一般に流通するものと区別するためにあえて「スリットしたフィルム」と称されることもある。

用語「ファイル」

日本語において「ファイル」とは写真フィルムを限定して指し、これにはロール状でないものも含まれる。拗音項も参照のこと。

用語「ビニール」

日本語独特の言い回しとして、包装用や農業資材用分野でのフィルムを指して俗に「ビニール」と呼称するケースがある。これは、本来はビニル樹脂（ポリ塩化ビニルなど）のことを意味するが、他の素材から製造されたフィルムをも混同する形で使われるケースが多い。

[カーフィルム](#)

カーフィルム千葉

作者: saitouatusi

2016年 11月 08日(火曜日) 13:34 -

[カーフィルム千葉](#)